令和４年度　音楽科　授業改善推進プラン

大田区立馬込第三小学校

１　昨年度の取り組みにおける成果と課題

成　　果	課　　題
・感染症対策をしながらもリズム感覚を重視した学習をしたことで、リズムアンサンブルなどの音楽づくりの学習意欲が高まった。 ・オンライン音楽朝会で取り組んでいる、ボディーパーカッションやクラッピングの演奏技能が向上した。 ・ICT を活用して振り返りをし、課題の共有を図れた。	・感染症対策を優先しながら、マスクを付けながらも発声、発音に気を付け、響きのある歌声を目指していく。 ・感染症対策を優先しながら、リコーダー、鍵盤ハーモニカのタンギングや運指などの基礎的、基本的な演奏技能の定着を図る。 ・感染症対策を優先しながら、ICT を含めた対話的活動を取り入れ、表現や鑑賞の活動を深めていく。 ・ICT を活用しての振り返りを定着させていく。音楽づくりで ICT の活用を図り、学びを深めていく。

２　課題を踏まえて次の取り組みを行います

１ 年 ・ ２ 年	３ 年 ・ ４ 年	５ 年 ・ ６ 年
・クラッピングや動作をつけながらリズム譜を見て演奏したり階名唱したりする技能が定着するように指導の充実を図る。 ・感染症対策を優先しながら、自然で無理のない声で歌う技能が身に付くようにする。 ・感染症対策を優先しながら、鍵盤ハーモニカの息の使い方やタンギングを定着させる。 ・聴き取ったこと、感じ取ったことが深まるようなワークシートを工夫したり ICT を活用したりする。	・感染症対策を優先しながら、響きのある歌い方で歌う技能や音色に気を付けて楽器を演奏する基本的な奏法が身に付くような教材開発と指導の充実を図る。 ・ICT を活用して聴き取ったこと、感じたことを共有し、考えを広げたり深めたりしていく。 ・ICT を活用し音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能の定着を図る。	・曲想にふさわしい歌声に気付かせ、言葉が伝わるように発音に重点を置いて指導の充実を図る。 ・器楽の学習において、実態に応じた教材選択、感染症対策を優先した楽器選択、編曲を行い、音を合わせる技能が向上するように指導の充実を図る。 ・昨年度も取り組んだが、まだ定着していないので、引き続き ICT を活用し表現のよさや面白さをについて交流し、表現を深めたり、考えを広げたりしていく。

令和４年度　図画工作科　授業改善推進プラン

大田区立馬込第三小学校

１　昨年度の取り組みにおける成果と課題

成　　果	課　　題
・ICT を活用し、鑑賞活動が充実した。 ・友達同士で作品を見合う時間を十分に確保したため、互いのよさや個性などに気付き、認め合うことができた。 ・学年の発達段階に応じて用具の基本的な使い方を徹底指導したことで、安全に活動でき、表現活動への興味・関心も高まった。	・自分の発想や表現に自信をもつ児童が増えているが、さらに認め合う活動を工夫して、自分の作品に愛着をもてるようにする。 ・形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもたせる。 ・完成までの見通しをもたせて、時間を意識しながら計画的な作品づくりができるようにする。 ・材料や用具を活用し、学んだことを生かしながら課題のテーマに向き合って作品づくりができるようにする。

２　課題を踏まえて次の取り組みを行います

１ 年 ・ ２ 年	３ 年 ・ ４ 年	５ 年 ・ ６ 年
・身近な材料を用いながら感覚や気持ちを生かして活動できる題材を通して学習意欲を高める。 ・ICT を活用し、友達同士で作品を見合う時間を十分に設け、いろいろな物の色や形、工夫している点に興味をもたせる。 ・カッターやはさみ、のり、絵の具など用具の基本的な使い方を知り、用具を使うことに慣れさせる。	・生活が楽しく豊かになるものを創造する活動を通して、材料や用具に対する関心や創作意欲の向上を図る。 ・絵の具、のこぎり、金づちなどの用具の使い方の指導を徹底し、適切に扱って表すことを通して技能や表現力の向上を図る。 ・ICT を活用した鑑賞活動を取り入れ、身近にある作品のよさや面白さなどを味わい、自分の見方や考え方を広げさせる。	・作品を見合う活動で ICT を活用し、作品を見せることへの抵抗感を減らしたり、意見交換を通じて互いのよさや個性などに気付かせたりさせる。 ・形や色などにかかわる表現や鑑賞を通して、造形的な特徴への理解を深めさせる。 ・活動のめあてや学習の過程を明記したワークシートを使うことで、活動に見通しをもたせる。

令和４年度　家庭科　授業改善推進プラン

大田区立馬込第三小学校

１　昨年度の取り組みにおける成果と課題

成　　果		課　　題	
５　　年	６　　年	５　　年	６　　年
・裁縫道具の基礎的な使い方を繰り返し取り組んだ結果、基本的な手縫い（なみ縫いなど）の技能を身に付けることができた。 ・道具の扱い方に気を付け、安全に裁縫に取り組むことができた。 ・動画やタブレット端末の活用により、裁縫の仕方などをしっかり理解することができた。各家庭でも活用できていた。	・複数の題材において、長期休業日などを上手に活用しながら繰り返し取り組むことによって、知識や技能の定着を図ることができた。 ・動画やタブレット端末の活用により、裁縫の仕方などをしっかり理解することができた。各家庭でも活用できていた。	・生活経験の乏しさから、自信がもてず積極的に取り組めない児童がいた。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で実施できない単元があり、児童の意欲が高まらなかった。また、外部の手伝いを呼ぶことができなかった。（裁縫の手伝いなど）	・学んだ知識や技術を定着させるために、生活に生かす機会を設ける。 ・生活経験の乏しさから、積極的に取り組めない児童がいた。 ・感染症対策のために学校では実施できない単元を家庭と連携して進める。

２　課題を踏まえて次の取り組みを行います

５　　年	６　　年
・基礎的な裁縫道具の扱い方について、個別に指導できるようにするとともに、友達同士でも教え合いができるような場を設定する。 ・技能面では、スモールステップで取り組ませる。そこで自身の課題を理解し、解決に向けて少しずつ取り組ませる。 ・感染症対策を取りながら、学習を進められるようにする。	・家族の一員として、自分のできる家庭の仕事はないかをしっかり考えさせ、取り組ませる。また、保護者会などを使って周知させ、学校と家庭で連携をとりながら長期休業日も継続できるようにする。 ・掃除や洗濯、買い物など食に関すること以外についても、家庭で取り組みやすい課題を保護者と一緒に考え、与えていく。 ・感染症対策を取りながら、学習を進められるようにする。

令和４年度　外国語活動・外国語科　授業改善推進プラン

大田区立馬込第三小学校

１　昨年度の取り組みにおける成果と課題

成　　果	課　　題
・外国語活動・外国語科の授業は外国語専科とALTの二人体制で授業を実施している。T・Tで授業を行うことで学習活動の幅が広がり、児童の学習意欲が高まった。 ・低学年は、歌や絵カードを活用して外国語に親しんだり、児童の実態に応じてALTと楽しく発話をしたりすることができた。 ・中学年は、ゲーム要素を取り入れた活動の中でコミュニケーションを図ることで、外国語の発音や表現を楽しみながら慣れ親しむことができた。 ・高学年は、既習の語句や表現を用いて、自分のことや身の回りのことを紹介する活動を積み重ねることができた。 ・６年生は学習効果測定を実施した。目標値と同程度、又は上回っていると考えられる児童の割合が８割を超えた。	・昨年度に引き続き、中学年は、返答の仕方が分からないなど、コミュニケーション活動への取り組みに二極化が見られた。そのため、簡単な語句や表現の習得に依然として課題がある。 ・昨年度に引き続き、高学年は、表現活動へ取り組む意識に二極化が見られた。そのため、児童一人一人が思いをもって活動することが依然として課題である。 ・高学年になると、リアクションやジェスチャーをしながら、英語を使ってコミュニケーションをとることに抵抗感をもつ児童がいることが課題である。

２　課題を踏まえて次の取り組みを行います

１年・２年	３年・４年	５年・６年
・引き続きタブレット端末を活用するなど、学習に楽しく取り組める教材開発をする。また、単語だけでなく、簡単な表現を楽しく発話できるようにする。	・引き続き、高学年を見据えて、返答例を示すことにより、双方向のコミュニケーションを促していく。また、簡単な語句や表現の練習をした後に、児童がすすんで友達や先生とコミュニケーションを図れるよう、発話の必然性がある場面を設定する。 ・中学年からリアクションに使う用語を用いたり、ジェスチャーをしたりするなど、全身を使って外国語のリズムや音に慣れ親しむ機会を設ける。	・学習効果測定の結果を踏まえ、買い物や道案内の場面等の身近な状況を推測したり、身の回りのことについて簡単な語句や表現を用いて短文を書いたりする活動を意識して取り入れる。 ・引き続き、高学年が表現活動を行う際は、目的意識をもって身の回りのことを紹介できるよう、動機を明確にさせ、意欲を高められるようにする。